

## 22 円滑なオンライン会議の進め方研修

～メンバーの力を最大限に引き出すスキル～



|                  |   |
|------------------|---|
| 目的               | 会議（オンラインでの会議を含む）やワークショップの場等で合意形成を図ったり、意志決定を行うための支援者としての「議論の進め方の手法」を学ぶ。  |
| 内容               | (1) よりよい会議を生み出すための手法を学ぶ。<br>(2) ファシリテーションとファシリテーターについて理解する。<br>(3) 対話や合意形成の手法について学ぶ。<br>(4) オンライン会議を円滑に進めるためのコツを学ぶ。   |
| 実施月日             | 10月7日（木）～8日（金） ※オンラインで実施  |
| 対象者              | 【市町村職員との合同研修】<br>・中堅職員キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 6名<br>・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 18名<br>・係長級の市町村職員 12名   |
| 研修講師<br>(プロフィール) | 加留部 貴行事務所 AN-B A I 代表<br>九州大学大学院統合新領域学府客員准教授 加留部 貴行（かるべ たかゆき）氏<br>1967年 山口県生まれ<br>1990年 九州大学法学部卒業<br>西部ガス（株）入社（人事、営業、新規事業部門）<br>2001年 福岡市派遣（NPO・ボランティア支援推進専門員として）<br>2007年 九州大学へ外向（大学改革プロジェクト。ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発や学内外プロジェクト）<br>2011年 独立 現在に至る<br><br>主な著書：『チームビルディングー人と人を「つなぐ」技法』、<br>『教育研修ファシリテーター』（ともに共著・日本経済新聞出版社） |
| 昨年度<br>受講者の声     | ・事例や演習を多く取り入れた講義であったため、想像や理解がしやすく、職場に持ち帰ったときに実践できそうな内容であった。<br>・会議は、事前に情報や目的、論点の共有なしに臨んでもうまいかないだけでなく、豊かな発想がひきだせないことが分かった。<br>・講師は実際の経験に基づいた手法で解説していたため、非常に具体的で分かりやすかった。<br>・会議に向かう姿勢や相手の発言を聞き出す手法など、日常業務でも活用できそうだった。<br>(上記は「R2効率的な会議の進め方研修」の感想です。R3はカリキュラムを一部変更する予定のため参考としてください)   |

| 日程表     |           | 8:30                  | 9:20           | 9:30   | 12:00              | 13:00     | 16:30                            |
|---------|-----------|-----------------------|----------------|--------|--------------------|-----------|----------------------------------|
| 1<br>日目 | 接続<br>テスト | オリ<br>エン<br>テー<br>ション | 1 これまでの会議を振り返る |        | 昼<br>食             | 4 対話の基本   |                                  |
|         |           |                       | 2 ファシリテーションとは  |        |                    | 5 可視化の基本  |                                  |
|         |           | 3 準備の基本               |                |        |                    | 6 合意形成ワーク |                                  |
| 2<br>日目 | 接続<br>テスト | 7 オンラインという場の特徴        |                | 昼<br>食 | 10 総合実践ワーク         |           | アン<br>ケ<br>ー<br>ト<br>・<br>閉<br>講 |
|         |           | 8 オンラインの場づくりのコツ       |                |        | 11 多様な対話の場づくりをめざして |           |                                  |
|         |           | 9 オンライン会議を体感する        |                |        |                    |           |                                  |

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。